

平成28年度事業報告

1. 海外の医療・看護関係者の育成・支援事業

日本の医療機関への従事を目指すアジア諸国の医療・看護関係者に対して、資格試験合格のために必要な教育を実施するほか、必要経費の援助を行うことにより、アジア各国出身者による日本の医療・看護技術の習得と、医療・看護従事者不足の解消を通じた国内の医療・看護体制の整備を促進する。

平成28年度は、日本の看護師国家試験を受験して不合格となったインドネシア人を対象とし、以下の要領にて彼らが再度来日して看護師試験・准看護師試験を受験するための各種費用の援助と、日本語および看護の専門教育など合格のために必要な各種教育の支援を実施したほか、インドネシア人医師の日本での研修費用を助成した。

【対象者】

EPAに基づく看護師候補者の受け入れ制度を利用して、日本の看護師国家試験を受験し、不合格となったインドネシア人で、再度受験を希望する者

【募集人数/受入実績/合格実績（H28年2月受験）】

10名程度/4名/准看護師3名

【募集人数/受入実績（H29年2月受験）】

5名程度/3名

【募集方法】

当法人ホームページへの情報掲載、インドネシア現地駐在員を通じた案内告知、インドネシアにおいて開催する説明会など

【選考方法及びスケジュール】

- a. インドネシアにおいて応募者の日本語能力を測る選考試験を実施（H28.8/14）
- b. インドネシアにおいて看護師国家試験の模擬試験を実施（H28.10/23）
- c. 選考委員会による選考（H28.10/27）

【支援内容及びスケジュール】

- a. インドネシア国内での日本語および看護学教育の実施（H28.5/21～H29/2/12）
- b. 日本への渡航費、海外旅行保険料の助成（H29.2月予定）
- c. 日本での看護師試験対策教育の実施（H29.2/16～2/18予定）
- d. 受験までの日本の住居の提供、生活費の助成（H29.2月予定）
- e. インドネシアへの帰国の渡航費の助成（H29.2月予定）

2. 国内の医療・看護関係者による海外における医療活動の支援事業

アジア諸国における医療実務への従事を希望する日本人医療関係者に対して、語学教育の実施や現地の医療実情の情報提供などの必要な支援を行うことにより、日本の医療技術の移転とアジアの医療水準の向上を促進する。

平成 28 年度は、インドネシアにおいて医療支援を志す医師を対象とし、以下の要領で国内でのインドネシア語教育を計画し募集を行ったが、応募がなかったため実施を見送った。

【対象者】

インドネシア国内での医療や医療関連業務への従事を予定している日本人医師

【募集人数】

2 名程度/年

【募集方法】

当法人ホームページへの情報掲載

【選考】

選考委員会による選考

【支援内容】

日本国内でのインドネシア語教育の実施（3 カ月間）

3. 医療・看護における国際協力の必要性についての普及啓発活動

日本及びアジアにおける医療現場の実態と問題点、国際医療連携の現状などについての理解を深めることをテーマとした講演会を開催し、医療・看護の分野における国際協力の必要性についての理解を促進する。

平成 28 年度は、以下の要領にて、日本において研修会等を実施し、この中で前述 1. の当法人事業の案内・告知も行ったほか、学会に参加して研究発表を実施した。

【実施概要】

- a. 意見交換会「インドネシアと日本の看護教育と看護の違いについて」

(H28. 1/19)

会場：one park residences

参加者数：27 名（内、元看護師 12 名、その他コメディカル 3 名）

言語：日本語

- b. 研修会「医療・看護の国際協力の必要性」(H28. 5/28)

主催：愛知県看護連盟

講師：小笠原広実（保健師・看護師）、岩本充晃（当法人職員）

会場：ウィンク愛知

参加者数：70 名程度

言語：日本語

- c. 学会「日本人看護師とインドネシア人看護師の感染管理に関する問題解決思考の相違－4M4E マトリクス分析による検討結果の比較－」(H28.7/27～7/31)

学会名：7th International Conference on Applied Human Factors
& Ergonomics

主催：Prof. Waldemar Karwowski, University of Central Florida

研究発表者：野崎真奈美（東邦大学看護学部教授）、
三家礼子（早稲田大学理工学研究所客員教授）、
小笠原広実（保健師・看護師）

会場：Walt Disney World Swan and Dolphin Hotel, Orlando, Florida, USA

参加者数：1,000名程度 言語：英語

- d. 学会 (H28.10/8)

学会名：第7回国際観光医療学会学術集会

会場：ヒルトン東京ベイ

演題：「インドネシア人看護師の質の向上へのとりくみ」

講師：小笠原広実（保健師・看護師）、澤田登起彦（医師）

演題：「インドネシアの看護と医療の理解に向けての取り組み」

講師：岩本充晃（当法人職員）、川原弘久、澤田登起彦、戸室真希、
加瀬美紀、大橋哲夫

参加者数：200名程度

言語：日本語

- e. 学会 (H28.12/10～12/11)

学会名：第36回日本看護科学学会学術集会

会場：東京国際フォーラム

演題：「看護学生の異文化受容態度－日本A県内とインドネシアの比較」

講師：中村悦子（新潟青陵大学看護学部教授）、
小笠原広実（保健師・看護師）

参加者数：4,306名

言語：日本語

4. 各団体への協力依頼

普及活動のため当会に賛同していただける学会ならびに企業とタイアップすることにより事業活動の円滑を促した。

以上

事業報告

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

1. 海外の医療・看護関係者の育成・支援事業

日本の医療機関への従事を目指すアジア諸国の医療・看護関係者に対して、資格試験合格のために必要な教育を実施するほか、必要経費の援助を行うことにより、アジア各国出身者による日本の医療・看護技術の習得と、医療・看護従事者不足の解消を通じた国内の医療・看護体制の整備を促進する。

平成 28 年度は、日本の看護師国家試験を受験して不合格となったインドネシア人を対象とし、以下の要領にて彼らが再度来日して看護師試験・准看護師試験を受験するための各種費用の援助と、日本語および看護の専門教育など合格のために必要な各種教育の支援を実施したほか、インドネシア人医師の日本での研修費用を助成した。

【対象者】

EPA に基づく看護師候補者の受け入れ制度を利用して、日本の看護師国家試験を受験し、不合格となったインドネシア人で、再度受験を希望する者

【募集人数/受入実績/合格実績（H28 年 2 月受験）】

10 名程度/4 名/准看護師 3 名

【募集人数/受入実績（H29 年 2 月受験）】

5 名程度/3 名

【募集方法】

当法人ホームページへの情報掲載、インドネシア現地駐在員を通じた案内告知、インドネシアにおいて開催する説明会など

【選考方法及びスケジュール】

- a. インドネシアにおいて応募者の日本語能力を測る選考試験を実施 (H28.8/14)
- b. インドネシアにおいて看護師国家試験の模擬試験を実施 (H28.10/23)
- c. 選考委員会による選考 (H28.10/27)

【支援内容及びスケジュール】

- a. インドネシア国内での日本語および看護学教育の実施 (H28.5/21～H29/2/12)
- b. 日本への渡航費、海外旅行保険料の助成 (H29.2 月予定)
- c. 日本での看護師試験対策教育の実施 (H29.2/16～2/18 予定)
- d. 受験までの日本の住居の提供、生活費の助成 (H29.2 月予定)
- e. インドネシアへの帰国の渡航費の助成 (H29.2 月予定)

2. 国内の医療・看護関係者による海外における医療活動の支援事業

アジア諸国における医療実務への従事を希望する日本人医療関係者に対して、語学教育の実施や現地の医療実情の情報提供などの必要な支援を行うことにより、日本の医療技術の移転とアジアの医療水準の向上を促進する。

平成 28 年度は、インドネシアにおいて医療支援を志す医師を対象とし、以下の要領で国内でのインドネシア語教育を計画し募集を行ったが、応募がなかったため実施を見送った。

【対象者】

インドネシア国内での医療や医療関連業務への従事を予定している日本人医師

【募集人数】

2 名程度/年

【募集方法】

当法人ホームページへの情報掲載

【選考】

選考委員会による選考

【支援内容】

日本国内でのインドネシア語教育の実施（3 カ月間）

3. 医療・看護における国際協力の必要性についての普及啓発活動

日本及びアジアにおける医療現場の実態と問題点、国際医療連携の現状などについての理解を深めることをテーマとした講演会を開催し、医療・看護の分野における国際協力の必要性についての理解を促進する。

平成 28 年度は、以下の要領にて、日本において研修会等を実施し、この中で前述 1. の当法人事業の案内・告知も行ったほか、学会に参加して研究発表を実施した。

【実施概要】

a. 意見交換会「インドネシアと日本の看護教育と看護の違いについて」

(H28.1/19)

会場：one park residences

参加者数：27 名（内、元看護師 12 名、その他コメディカル 3 名）

言語：日本語

b. 研修会「医療・看護の国際協力の必要性」(H28.5/28)

主催：愛知県看護連盟

講師：小笠原広実（保健師・看護師）、岩本充晃（当法人職員）

会場：ウィンク愛知

参加者数：70 名程度

言語：日本語

- c. 学会「日本人看護師とインドネシア人看護師の感染管理に関する問題解決思考の相違－4M4E マトリクス分析による検討結果の比較－」(H28.7/27～7/31)

学会名：7th International Conference on Applied Human Factors
& Ergonomics

主催：Prof. Waldemar Karwowski, University of Central Florida

研究発表者：野崎真奈美（東邦大学看護学部教授）、
三家礼子（早稲田大学理工学研究所客員教授）、
小笠原広実（保健師・看護師）

会場：Walt Disney World Swan and Dolphin Hotel, Orlando, Florida, USA

参加者数：1,000名程度 言語：英語

- d. 学会 (H28.10/8)

学会名：第7回国際観光医療学会学術集会

会場：ヒルトン東京ベイ

演題：「インドネシア人看護師の質の向上へのとりくみ」

講師：小笠原広実（保健師・看護師）、澤田登起彦（医師）

演題：「インドネシアの看護と医療の理解に向けての取り組み」

講師：岩本充晃（当法人職員）、川原弘久、澤田登起彦、戸室真希、
加瀬美紀、大橋哲夫

参加者数：200名程度

言語：日本語

- e. 学会 (H28.12/10～12/11)

学会名：第36回日本看護科学学会学術集会

会場：東京国際フォーラム

演題：「看護学生の異文化受容態度－日本A県内とインドネシアの比較」

講師：中村悦子（新潟青陵大学看護学部教授）、

小笠原広実（保健師・看護師）

参加者数：4,306名

言語：日本語

4. 各団体への協力依頼

普及活動のため当会に賛同していただける学会ならびに企業とタイアップすることにより事業活動の円滑を促した。

以上